

研究発表もうしこみフォーム

氏名：サリントヤ

氏名のローマ字表記：sarantuya

所属：北海道大学文学院

専門分野：文化人類学研究室

発表のタイトル：「モンゴル牧畜社会における人間と家畜のコミュニケーションに関する人類学的な研究」

発表要旨（600字～800字程度）：

モンゴル牧畜民は季節ごとに移動し、遊牧文化を形成してきた。ところが近年、内モンゴルの牧畜地域では国家政策（禁牧政策）・市場経済の影響により季節ごとに移動することができなくなった。それに伴い、特に内モンゴルでは伝統的な牧畜方法や技術が持続可能なのかということが問題になっている。こうした生活変化の状況下において、長い遊牧生活の歴史で構築されてきた遊牧民の家畜観や、人間と家畜における身体と声のコミュニケーション、家畜に対する歌など遊牧社会にある特有の文化が失われていると考えられる。今の状況が継続すればモンゴルの伝統的な文化とアイデンティティは消失する危険性がある。したがって、今まで遊牧民達によって培われてきたものを記録しておくことが必要だと考える。

また、従来のモンゴル牧畜研究では、遊牧の起源、家畜管理方法、家畜の身体から得られたものの資源としての利用方法や技術などについて焦点をあてたものが多い。いずれの地域（モンゴル国と内モンゴル）の研究でも、モンゴルの牧畜社会における動物側の行動と人間側の行動の連なりを体系的に追っている研究は少ない。特に日常の生業活動における人間と動物の相互コミュニケーションに関するモンゴル遊牧民の民族誌が少ないことから、自然に依存して生きるモンゴル遊牧民と人間に強く依存して生きている家畜に着目して、遊牧民と動物との相互的な認知やコミュニケーションについて調査を行った。本発表ではこれらの事例を報告し、分析する。